

昭和五十六年九月招集

第三回館山市議定会定例会會議録

館山市議會

目次

○第一号（九月十二日）

開 会 ----- 六

議長の報告 ----- 六

議案の配付 ----- 六

会議録署名議員の指名 ----- 六

会期の決定 ----- 六

会議日程の決定 ----- 六

議案第四十四号ノ議案第四十七号、認定第一号ノ認定第七号

（提案理由の説明） ----- 七

延 会 ----- 九

本日の会議に付した事件 ----- 一〇

○第二号（九月十七日）

開 議 ----- 一三

行政一般通告質問 ----- 一三

福原 勲君の質問、当局の応答 ----- 一三

古賀礼四郎君の質問、当局の応答 ----- 一三

安西 益男君の質問、当局の応答 ----- 三二

横溝 功君の質問、当局の応答 ----- 四一

石井 武敏君の質問、当局の応答 ----- 五〇

神田 守隆君の質問、当局の応答 ----- 六一

散 会 ----- 七二

本日の会議に付した事件 ----- 七二

○第三号（九月十八日）

開 議 ----- 七五

議案第四十四号ノ議案第四十六号 ----- 七六

石井 武敏君の質疑、当局の応答 ----- 七六

神田 守隆君の質疑、当局の応答 ----- 七八

委員会付託 ----- 七九

議案第四十七号 ----- 七九

石井 武敏君の質疑、当局の応答 ----- 八〇

神田 守隆君の質疑、当局の応答 ----- 八五

委員会付託 ----- 八九

認定第一号ノ認定第七号 ----- 八九

石井 武敏君の質疑、当局の応答 ----- 八九

神田 守隆君の質疑、当局の応答 ----- 九九

決算審査特別委員会の設置、付託、委員の選任 ----- 一〇〇

請願第三号 ----- 一〇〇

説明 ----- 一一一

委員会付託 ----- 一一一

請願第四号 ----- 一二二

説明 ----- 一二二

委員会付託 ----- 一二三

延 会 ----- 一三三

本日の会議に付した事件 ----- 一三三

○第四号（九月二十六日）

開 議 ----- 一一八

議案第四十四号、議案第四十七号 ----- 一一八

総務委員会委員長報告 ----- 一一八

| | |
|-----------------|-----|
| 採決 | 一一〇 |
| 議案第四十五号、議案第四十六号 | 一一〇 |
| 建設經濟委員会委員長報告 | 一一〇 |
| 採決 | 一一一 |
| 認定第一号、認定第七号 | 一一一 |
| 決算審査特別委員会委員長報告 | 一一一 |
| 神田 守隆君の討論 | 一一五 |
| 採決 | 一二七 |
| 継続審査について | 一二八 |
| 議案第四十八号 | 一二八 |
| 説明 | 一二八 |
| 委員会付託の省略 | 一二九 |
| 採決 | 一二九 |
| 議案第四十九号 | 一二九 |
| 説明 | 一二九 |
| 委員会付託の省略 | 一二九 |
| 神田 守隆君の討論 | 一二九 |
| 採決 | 一三〇 |
| 議案第五十号 | 一三〇 |
| 説明 | 一三〇 |
| 委員会付託の省略 | 一三〇 |
| 神田 守隆君の討論 | 一三一 |
| 採決 | 一三一 |
| 議案第五十一号 | 一三一 |
| 説明 | 一三一 |

| | |
|-------------|-----|
| 委員会付託の省略 | 一三一 |
| 採決 | 一三一 |
| 議案第五十二号 | 一三一 |
| 説明 | 一三一 |
| 委員会付託の省略 | 一三一 |
| 採決 | 一三一 |
| 閉 会 | 一三一 |
| 本日の会議に付した事件 | 一三三 |

第三回館山市議定会定例会議録（第一号）

昭和五十六年九月十二日(土曜日) 午前十時
館山市役所議場

出席議員 二十五名

| | | | |
|-----|-------|-----|-------|
| 一番 | 神田守隆 | 二番 | 石井謀 |
| 四番 | 横溝功 | 五番 | 福原勤 |
| 七番 | 古賀礼四郎 | 九番 | 松下正己 |
| 十一番 | 林豊 | 十二番 | 栗原一雄 |
| 十三番 | 近藤好雄 | 十四番 | 渡辺昭夫 |
| 十五番 | 伊藤幸太郎 | 一七番 | 黒川平治 |
| 一八番 | 流山源次郎 | 一九番 | 石井輝久 |
| 二〇番 | 石井武敏 | 二一番 | 吉田勇治郎 |
| 二二番 | 藤田益治 | 二三番 | 菊井敏博 |
| 二四番 | 和田一郎 | 二五番 | 五十嵐昇 |
| 二六番 | 伊賀多朗 | 二七番 | 石井正 |
| 二八番 | 安澤徳順 | 二九番 | 安西益男 |
| 三〇番 | 山口康 | | |

欠席議員 二名

八番 石井昌治 一六番 押元 稔

出席説明員

| | | | |
|---------|------|---------|------|
| 市長 | 半澤良一 | 助役 | 小倉澄男 |
| 収入役 | 太田博雄 | 市長公室長 | 斎藤武男 |
| 総務部長 | 石田雄一 | 民生部長 | 鈴木力 |
| 経済部長 | 山田俊康 | 水道課長 | 庄司利光 |
| 教育委員長 | 吉田政弘 | 教育委員長 | 安田豊作 |
| 選挙管理委員長 | 鈴木正 | 選挙管理委員長 | 蜂谷達二 |
| 委員 | | 事務局書記長 | |

監査事務局長 角田 巖 農業委員会 斎藤 明
事務局長 庄司 徹
出席事務局職員

事務局長 高尾 豊 事務局長補佐 熊谷 吉雄
書記 兵藤 恭一 書記 鈴木 哲
書記 石井 一夫 書記 嶋田 範夫

議事日程(第一号)

昭和五十六年九月十二日午前十時開議

日程第一 会議録署名議員の指名

日程第二 会期の決定

日程第三 会議日程の決定

議案第四十四号 財産の取得について
議案第四十五号 市道路線の認定について
議案第四十六号 市道路線の廃止について
議案第四十七号 昭和五十六年度館山市一般会計補正予算(第四号)

認定第一号 昭和五十五年度館山市一般会計歳入歳出決算の認定について
認定第二号 昭和五十五年度館山市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第三号 昭和五十五年度館山市と畜場特別会計歳入歳出決算の認定について
認定第四号 昭和五十五年度館山市ユースホステル特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第四

いて

認定第五号

昭和五十五年度館山市学童災害共済事業特別会計歳入歳出決算の認定について

認定第六号

昭和五十五年度館山市水道事業特別会計収支決算の認定について

認定第七号

昭和五十五年度館山市国民宿舍事業特別会計収支決算の認定について

開

会 午前十時三分開会

○議長（林 豊君） 本日の出席議員数二十四名、これより昭和五十六年第三回市議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

議長の報告

○議長（林 豊君） 本定例会議案審議のため、地方自治法第二百一十一条の規定による出席要求に対し、お手元に配付のとおり出席報告がありましたので御了承願います。

なお、監査委員より六月乃至八月実施の監査の結果が報告されております。それぞれお手元に配付の印刷書により御了承願います。

議案の配付

○議長（林 豊君） ただいま市長から議案並びに説明書の送付がありました。

議案並びに説明書を配付いたさせます。

配付漏れはありませんか。——配付漏れなしと認めます。本日の議事はお手元に配付の日程表により行います。

会議録署名議員の指名

○議長（林 豊君） 日程第一、会議録署名議員の指名を行います。九番議員松下正己君、二六番議員伊賀多朗君、以上両君を指名いたします。

会期の決定

○議長（林 豊君） 日程第二、会期の決定を行います。

本定例会の会期につき、議会運営協議会の意見は、本九月十二日から九月二十六日までの十五日間ということであります。お諮りいたします。会期を十五日間と定めますことに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって会期は九月十二日から九月二十六日までの十五日間と決定いたしました。

会議日程の決定

○議長（林 豊君） 日程第三、会議日程の決定を行います。

お諮りいたします。お手元に配付いたしました会議日程表は、本定例会の大体の日取り予定であります。議会運営協議会の意見により作成いたしました。本定例会をおおむねこの会議日程表により運びますとともに、その間議案の追加、または議事の都合

等によりまして、その都度これを改めることにいたしました。大体このようにいたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○議長(林 豊君) 御異議なしと認めます。よつて会議日程は決定いたしました。

議案の上程

○議長(林 豊君) 議案第四十四号乃至議案第四十七号及び認定第一号乃至認定第七号を一括して議題とし、これより各議案の提案理由の説明を求めます。

提案理由の説明

(市長半澤良一君登壇)

○市長(半澤良一君) 本日、ここに第三回定例市議會を招集いたし、当面する諸案件について御審議をお願いすることといたしましたが、議員の皆さま方には、御多忙のところ御出席いただきありがとうございます。

今回、提案いたします案件は、一般議案三件、補正予算一件並びに認定七件であります。

以下、その概要について御説明申し上げます。

まず、議案第四十四号財産の取得についてであります。これは城山公園整備事業に係る用地を取得しようとするもので、このほど昭和五十六年度県費補助事業として認められ、補助金の内示もあり、また関係地主の了解も得られましたので、館山市館山字城山三六三番の一ほか二十五筆、面積九千七百二十・四五平方メ

ートルの土地について、予定価額五千六百八十二万八千五百五十円をもつて千本治郎氏ほか十二名から買収しようとするものであります。

次に、議案第四十五号市道路線の認定についてであります。道路法第八条第二項の規定に基づき、三五一号線、三五二号線及び六三〇号線を市道として認定いたしたいというものであります。なお、延長は、三五一号線が二十九メートル、三五二号線が百三十七メートル、六三〇号線が百五十一メートルで、幅員は、三五一号線が一・〇メートル、三五二号線が二・六メートル、六三〇号線が一・〇メートルであります。

次に、議案第四十六号市道路線の廃止についてであります。道路法第十条第一項の規定に基づき、館山市コミュニティ施設建設用地内の市道三五〇号線、市道三五一号線、市道三百五十二号線及び市道六三〇号線の廃止をいたしたいというものであります。なお、延長は、市道三五〇号線が三百二十五メートル、市道三五一号線が二百五十六メートル、市道三五二号線が三百二十メートル、市道六三〇号線が五百十三メートル、幅員は、市道三五〇号線が一・〇メートルから二・六メートル、市道三五一号線が一・〇メートル、市道三五二号線が二・六メートル、市道六三〇号線が一・〇メートルであります。

次に、議案第四十七号昭和五十六年度館山市一般会計補正予算(第四号)であります。歳入歳出予算の補正といたしまして、歳入歳出それぞれ五千七十三万八千円を追加し、総額九十二億八千四百五十千円とするものであります。

歳出のうち、主なものとして、総務費では、庁舎敷地内に

建設を予定する身体障害者用便所新築工事費で二百二十万円、昭和五十五年度において交付された生活保護費負担金等国、県支出金の精算による返還金百九十六万五千円の追加、去る七月十七日に予定されていた館山市農業委員会委員選挙が無投票になったことによる関係経費百五十二万五千円の減額。

民生費では、工事費として二百二十万円を計上いたしました。

これは、児童に健全な遊び場を与えるため青柳地区に児童遊園を設置しようとするものであります。

衛生費では、来年度から衛生センター隣接地に建設を予定いたします。ごみ処理施設の建設用地について地質調査を実施する必要がありますので、その調査費として三百七十五万円、衛生センター周辺農道整備に要する工事材料費二百二十二万円。

農林水産業費では、農業費におきまして農免道路整備に伴う補償費として百二十万円、水産業費では、水産資源の維持、増殖を図るための魚礁設置事業補助金として三百九十万円。

商工費では、館山市の特性を生かした観光地づくりを計画的に推進するにあたり、基本的な計画策定を行うための委託料として四百七十五万円。

土木費では、どんどん川整備工事費四百五十万円、都市計画事業の推進に伴う旅費百万三千元。

教育費では、西岬地区の通学用道路用地測量調査費二百二十万円。

災害復旧費では、昭和五十五年度及び昭和五十六年度に災害をこうむった岡田川及び市道洲宮布沼線の工事費千二百万円等の追加をお願いするものであります。

以上、歳出の主なものについて御説明申し上げましたが、これらの財源としまして国、県支出金の特定財源で千五百三十一万円、その他を繰越金をもって充当しようとするものであります。

次に、認定第一号乃至第七号の諸案件は、いずれも昭和五十五年館山市一般会計ほか六会計の歳入歳出決算の認定について、地方自治法等の規定に基づき、監査委員の意見を付して市議会の認定をお願いするものであります。

昭和五十五年度におけるわが国の経済は、前年度後半の金融引き締め政策により景気にかげりが見られたことにより、三次にわたり公定歩合の引き下げが行われました。この結果、企業の設備投資並びに輸出は比較的固い伸びを示しましたが、個人消費の伸び悩み、公共投資の抑制基調により景気は後退の様相を示すものとなりました。

他方、国家財政は、財政再建の第一歩を踏み出すため、一般歳出では極力経費の節減、合理化が図られ、歳入では、公債の発行額が前年度当初予算より一兆円圧縮されたことにより、一般会計における予算規模は、前年度に対し一〇・三%と低い伸び率となりましたが、なおその発行額は、十四兆二千七百億円に及んでおります。

また、地方財政においても、引き続き予想された財政難に対して交付税会計への資金運用部からの借り入れ、建設地方債の発行等の措置を講じて財源不足を補っており、地方公共団体も国と同様に地方債への依存度が高まっております。

このような背景の中で、本市は、国の財源措置に呼応するとともに、極力財源の確保に努める一方、執行面では、内部点検によ

り事務事業の民間委託等を行って経費の節減を図り、限られた財源を効率的、計画的に配分いたしました。前年度決算審査特別委員会及び予算審査特別委員会より御指導並びに要請をいただいた事項に十分留意いたしました。『住みよい環境づくり』、『福祉社会づくり』、『教育、文化の環境づくり』、『産業の基盤づくり』の四項目を重要施策として財政の健全性を確保しながら生活基盤の整備に努めてまいりました。

この結果、昭和五十五年度の一般会計決算におきましては、実質収支で四億五千三百万余円の黒字決算を遂げることができました。また、特別会計におきましては、独立採算制を確保するため合理化を図りつつその運営にあたりましたが、特に、国民健康保険会計におきましては、当初予定されました医療費の改定が行われなかったことによりまして、実質収支で一億千四百三十九万二千余円の黒字決算となっております。

水道企業会計につきましては、第二次拡張事業の二年度目にあたり、この事業計画に基づき、東長田、西長田、出野尾、岡田地区へ給水するため配水管等布設工事を実施しました。また、本市の水道供給の現状から夏季の水需要期に一層安定した給水を図るため、作名浄水場の沈でん池改良工事を行い、給水能力の拡充に努めました。

なお、本年度は、財政の健全化を図るため、六月から水道料金を平均三九・五%の引き上げを行いました。その結果、収益的収支につきましては、単年度収支で三千九十九万五千余円の黒字を生じまして、前年度からの累積赤字一億千二百六万五千余円が八千二十七万余円に減少いたしました。

国民宿舎企業会計につきましては、全面改築の上、営業を開始したところですが、冷夏等の影響もありまして、利用人員等の伸び悩みにより二千百三十二万九千余円の純損失となりました。

昭和五十五年度の決算についてその概要を申し上げましたが、個々の施策につきましては、決算に関する主要な施策の成果に関する報告及び歳入歳出決算事項別明細書等により御了承賜りたいと存じます。

以上、本定例市議会において上程いたします各案件につきまして提案理由の御説明を申し上げましたが、なお、館山市立船形小学校防音改築工事（第二期内装）に係る工事請負契約の締結について並びに任期満了に伴う館山市教育委員会委員の任命について館山市監査委員の選任について及び館山市固定資産評価審査委員会委員の選任について並びに目下欠員中の人権擁護委員候補者の推薦について、それぞれ市議会の同意を得たく追加議案として上程をお願いする予定であります。

何とぞ、慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます、提案理由の説明を終わります。

○議長（林 豊君） 以上で提案理由の説明を終わります。

延 会 午前十時二十分延会

○議長（林 豊君） お諮りいたします。

本日の会議はこれにて延会いたしたいと思ひます。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（林 豊君） 御異議なしと認めます。よって本日はこれに

て延会することに決しました。

なお、明九月十三日から十六日まで議案調査のため休会、次会は九月十七日午前十時開会とし、その議事は通告による行政一般質議を行います。

この際申し上げます。各議案の質疑通告の締め切りは九月十七日正午まででありますので申し添えます。

○本日の会議に付した事件

一、 会議録署名議員の指名

二、 会期の決定

三、 会議日程の決定

一、 議案第四十四号乃至議案第四十七号、認定第一号乃至認定第七号